



かしま友愛

第32号

2017年1月1日

社会福祉法人
加島友愛会事務局
大阪市淀川区加島1-60-36

☎ 06-6101-6601

新しい年を迎えて



社会福祉法人加島友愛会

理事長 平田 純博



地域の障害者・要介護高齢者の方の住民
送迎支援事業の準備をすすめてきまし
たが、ようやくこの一月には事業開始
のめどがたちました。

サービス利用者の皆様、地域の皆様、
職員と社会福祉事業の仲間の皆様のご
支援、ご協力の賜ものと感謝申し上げ
ます。

昨年十一月のアメリカ大統領選挙で
は、共和党のトランプ氏が勝利し世界
の政治・経済情勢が大きく変わろうと
しています。

その中において日本の社会福祉事業
は、社会保障費増大抑制の観点から介
護保険制度改革、社会福祉法人改革な
どの政策が二〇一七年度から始まり、
障害者、高齢者、子育て家族やわたし
ども社会福祉法人にどのような影響を
もたらすのか不安で一杯の思いでおり
ます。

新しい年が国民にとって、特に震災
にみまわれた熊本県住民にとって明る
い展望が見えて来るよう願うものです。

二〇一七年も皆様の変わらぬご支援
ご協力を重ねてお願いしまして、新年
のご挨拶といたします。

新年明けましておめでとございま
す。

皆様にはつつがなく新春をお迎えに
なられたこと、お慶び申し上げます。

旧年は、当法人『レインボープラン』
の第二期の推進に向け、旧加島人権文
化センター跡地および旧加島市営住宅
・老人センター跡地（合計約四、三〇
〇㎡）を確保、サービス付高齢者住宅
（障害者同居の高齢家族含む）と職員
住宅の建設計画をすすめてきました。

さらに、第二高齢者デイサービス
含む在宅介護サービスの再構築、新た
に隣保館事業や銭湯「玉の湯」復活、
法人内保育所など検討をすすめていま
す。

十三市民病院や淀川区役所などへの
通院・通所でお困りの加島・三津屋地

コラム

かしまの光

沖縄県の高江で米
軍ヘリパッドの建設
工事が進められ、反

対の抗議行動がおこなわれて
いる。そこで大阪府警から派
遣されている機動隊員が「触
るなクソ、どこつかんどんじ
ゃ、このポケ」「土人が」と
言っている動画がテレビで放
映され、大きな問題として取
り上げられた▼この発言を受
け、鶴保沖繩担当相は「差別
と断定できない」との発言を
繰り返し、さらに問題が大き
くなった。しかし政府は改め
て、今回の発言は「差別と断
定できない」とする答弁書を
閣議決定した▼あの映像を見
て「差別意識がない」と判断
することに、違和感を覚える
人は少なくないだろう▼「ヘ
イトスピーチ対策法」が施行
され「部落差別の解消の推進
に関する法律」が可決された
今、根本的に差別
を撤廃する確たる
法律が望まれる。



加島希望の家

加島希望の家の篠原卓也です。生活支援員として勤務して5年目を迎えます。まだまだ勉強中ですが日々生活支援員として利用者さんと関わりながら一人ひとりが何を思い、何を感じ、何を楽しみにされているのかを考えて、そのために必要なサポートは何かを考えることを大事にしています。



利用者さんは色々な目的をもって希望の家に通われています。「仕事がしたい」「楽しい時間を過ごしたい」「イベントが楽しい」、なかでも「ごはんが楽しみ」にされている方は多いです。

なので食事の時は、ゆったりと食事がとれるように時間や座る場所も余裕がとれるようにしています。調理員さんもできるだけ利用者さんの顔を見てからの盛りつけを心がけたり、栄養士さんも利用者さんからのリクエストをメニューに取り入れる工夫をしています。

調理の仕方や味付け、盛りつけなど調理員・栄養士・生活支援員がそれぞれ利用者さんの食事の様子を見ながら、気づいた事をお互い情報交換しながら話し合い、一人ひとりに合った食事提供をめざしています。

利用者さんがごはんを楽しみにしている理由の一つだと思えます。もちろん私も希望の家の食事を楽しみにしています。

日々の生活の中、一つ一つに「利用者さんにとってより良いサービス・サポートは何か」に目をむけることが、希望の家のいいところだと思えます。

特集 私の施設・職場の紹介です！

加島友愛会には多様な施設・事業所があり、三百名を超える職員が働いています。同じ法人にいなながらも、なかなか他の職場のことはわからないもの。

そこで「自分の施設・職場のいいところ」「こんな取り組みやってます」を紹介してもらいました。

皆さん頑張っています！

リュミエール加島

リュミエール加島で介護士をしています、菅井淑恵です。年末で入居されている方は46名になりました。介護度が高い方や、普段外出できず春夏秋冬を感じられない方もいらっしゃいます。

リュミエール加島では、レクリエーション委員会を通じて、入居者様に四季を感じていただき、笑顔で生活できるよう活動しております。

お花見・夏祭り・敬老会・秋の運動会・クリスマス会・おたのしみ会等、外部の方による手品、コーラス、ハーモニカ演奏、日本舞踊にフラダンス等。お知らせのポスターも手作りして掲示し、家族の皆さんも心待ちにしてくれています。

入居者様の笑顔を見ることができ、職員と一体になって楽しむ四季を感じていただける「触れ合いの時間」がある、これがリュミエール加島のいい所だと日々感じています。



Link

Linkの市村亜紀です。

Linkでは働くために必要となる基本的な生活リズムの確立や報告・連絡・相談の仕方、身だしなみの整え方、自身の障害特性への理解などについて、作業やグループワークを通して支援しています。

訓練当初は働くことに対するイメージを持っていなかった利用者の方が、日々の訓練を通して自信をつけていき、誇らしそうに就職されていく姿を見ることがとてもうれしい瞬間です。

女性職員が多く、私自身は慣れない子育てで周りに迷惑をかけることも多いのですが、支えてくれる上司や後輩職員がいることがとても心強いです。支援の内容についてもみんなで話し合いながら、これからもきめ細かい支援をめざしていきたいと思っています。



アンダンテ加島

アンダンテ加島・生活支援スタッフの磯野秀樹です。

アンダンテ加島で取り組む、個別余暇の活動について紹介します。

近年アンダンテ加島でも『重度・高齢化』が進んでおり、介助度の高い方が増えてきています。高齢の利用者の方に向けて、リハビリの機会や季節に応じたイベント等、各スタッフが試行錯誤しながら様々な取り組みを実施しています。

私の担当するユニットもまさに高齢の利用者が多く生活をされており、その方々の余暇支援にも取り組んでいます。土日・祝日に実施している集団での余暇活動にも参加してもらっていますが、車椅子での移動、トイレでの個別対応が必須で、集団での外出が難しい場合も出て来ています。安全面も考慮し、個別での外出機会を設けることで、マンツーマン対応ができ、移動やトイレ場面もよりスムーズに介助に



当たることができます。

行き先もさまざま（映画・大衆演劇・高校野球・観光・マッサージ等）、その方の希望や好みに合わせて柔軟に対応することで、より楽しんで満足していただけているように感じています。利用者の方が楽しそうに過ごされている様子を目にすると、同行する私も素直にうれしくなります。

今後ますます高齢化が進んでいく中で、余暇支援ももちろん大切ですが、利用者の方が元気で豊かな生活を送って行けるように、高齢者介護に向けた周囲の環境整備、そして介護技術についても勉強し、日々の支援に活かしていけるように努めていきたいと思っています。



加寿苑

デイサービスセンター加寿苑の上田学です。

美津島地域在宅サービスステーションとしてデイサービスをオープンして20年が経ちました。現在は「加寿苑」と言えば知らない方はいらっしゃらない程、地域の皆さまに密着した施設となっています。

そんなデイサービスセンター加寿苑の良い所を紹介したいと思います。

加寿苑の自慢は何といっても、大きなお風呂です。十分なスペースのある洗い場に、ゆったりと入って頂ける浴槽。ご利用いただいている皆様が「広くて、いいお風呂や。入りやすいし、ここで入ったら家の風呂は入られへん」と満足してくださっています。

それと、アットホームな雰囲気でも過ごしていただけるデイフロア。ご利用者様同士が常に笑顔で会話され、そこへ職員もお話に参加させていただき、楽しいひと時を過ごしています。

毎日時間の経過が早すぎて「もう帰る時間かいな！」と皆さんおっしゃられます。



昨今の介護現場の動向をみますと、介護予防を始め自立した生活を送るために、リハビリや作業など様々なサービスを提供する事業所が増えてきました。それが重要なことは承知

していますが、加寿苑はそれらのサービスではなく、ゆっくり過ごしたいと思われている皆さまにサービスを提供させていただいています。

それが理由かは分かりませんが、お陰さまで新しくご利用を希望されている皆さまには空きができるまでお待ちいただいている状況です。

施設としては年数が経ち目新しさはありませんが、今後も皆様のニーズが満たせて息抜きのできる施設として、加寿苑を選んでいただけるように努めてまいります。

加寿苑

果物の秋、行楽の秋を満喫

一昨年、特養オーブン十五周年を記念して整備した加寿苑の中庭は、この一年間に柿や梨、ミカン、レモン、ブルーベリーが次々に実をつけ、利用者の皆さんを楽しませてくれています。また新幹線側にある柿の木には、昨年二百個ほどの実がなりました。渋柿ですが焼酎で渋抜きすることで甘い柿に。美味しく変身しました。



加寿苑の庭で採れた柿を皆さんに召し上がっていただいた。

「おいしいわ」「むちゃくちゃ甘いね」と大好評。「もう一つちょうだい」と、次々と声がかかった。

Mさんは「お店で買った柿より甘いわ。買ったやつ、美味しくなくてまだ残ってんのだよ。こんなやつたら、買わなかったら良かった」とのこと。

「ここやったらタダで食べさせてくれるから。次から買わんとき」とまわりから言われ、「そうするわ」と大笑いとなった。(デイサービスの日誌より)



十月十一月には、恒例の日帰り旅行で神戸どうぶつ王国・南

京町へ。三回に分かれて行ってきました。

例年より観光客が多く混雑していました。皆さん観光にグルメに堪能されていました。

(桑野)



昨年のリュミエール加島は「心地よさ」をテーマに、「場所」「時間」「人」といった施設環境づくりに取り組んできました。リュミエール加島のコンセプトでもある自己選択、自立支援に向けたものです。

取り組みについていくつかご紹介しますと、日課としてできるように、時間を決めてラジオ体操を始めました。毎日ではできなかったのですが、身体を動かす習慣はついたように思います。

また、映画が見たいとの声が聞かれたので、二階食堂にある大画面のスクリーンを使って、毎月映画鑑賞会を開催しました。上映内容は、「男はつらいよシリーズ」や「風と共に去りぬ」など人情ものから洋画まで内容の違うものになりました。今年は



地域の方でも参加いただけるように上映ルールを決めて映画鑑賞会を楽しみたいと思います。



二階食堂の場所にちよっとした集える場所づくりに取り組んでいます。食堂はレクリエーションの場所としても活用していますが、集える場所としての認識はなかなかなく、広さ的にも落ち着かない様子です。

皆さんが落ち着いてくつろいでいただけるよう、食堂の一部を模様替えし、気軽に皆さんが自然に集える場所として利用してもらおうことをめざしています。

(江見)

環境整備に取り組む

リュミエール加島

今年も野菜が沢山収穫できました

希望の家ではアンダンテ加島と共同で農作業を行っています。数年前から「希望の家でも作りたい!」と利用者さんの声があがってきました。なんとか形にしようと中庭での野菜作りをはじめました。今では利用者さんが中心となって色々な野菜作りをおこなっています。

はじめは中庭の空いているスペースに、小さな畑とプランターの準備や土作りから始めました。土の中には小石などが沢山あり、ふるいにかけるが大変でした。土に栄養をと腐葉土や石灰を入れ、スコップやバケツで混ぜたりと皆さんとても頑張られていました。

何を植えるかは写真を見ながら利用者さんに選んでもらい代表的な夏野菜のプチトマト、ナス、ピーマン、玉ねぎにチャレンジする事になりました。毎日の水やりは利用者さんの日課となりました。また、無農薬栽培で野菜作りをしているので、害虫や雑草で大変でしたが職員と利用者で協力しあひながら育てました。

時々、通りがかりの地域の方から「もう少し枝を切った方がよく育つよ」「水をもう少しあげた方がいいよ」などのアドバイスや、「毎日暑い中頑張ってるね」「野菜、楽しみやね」と声を掛けていただくと利用者さんは笑顔で応えて、いっそう頑張っ畑仕事に取り組まれていました。その様子をみていて菜園活動をはじめて本当に良かったと思いました。



野菜も順調に育ち、とれたての野菜で収穫祭を行いました。まずは利用者さんと味見、自分たちで育てた野菜は格別です。皆さん美味しそうに口に運ばれていました。野菜は玄関で当日販売もしています。ご家族や利用者さんに好評で「キュウリないの?」「ナス美味しかったからまた作ってね」などの声もいただきます。

中庭菜園活動は自然を感じながら野菜を育て食べる楽しみや、販売等を通じて地域の方との交流も広がり、希望の家の活動の一つとして定着してきました。これからも活動を広げたいと思います。みなさんのご支援、ご協力のほどよろしくお願いします。(小幡)

【今までのチャレンジした野菜】 オクラ、キュウリ、ニガウリ、ズッキーニ、南瓜、ピーマン、ナス、トマト、玉ねぎ、枝豆、いんげん豆、しそ

楽しかった一泊旅行

アンダンテ加島



9月29・30日に一泊旅行で京都・滋賀方面に行ってきました。この旅行を心待ちにしていた利用者さんも多く、窓からバスが見えると、とても喜ばれていました。

初日はコカコーラの工場見学と鉄道博物館でした。工場見学の内容は少し難しかったですが、3Dシアターでの映像や懐かしいコカコーラの歴史的な展示物を見る事ができました。フリードリンクコーナーでジュースの試飲をすることもできて、皆さん満足されていました。

鉄道博物館では、雨が降るか降らないか怪しげな空模様でしたが、蒸気機関車に乗ったり、電車の写真を撮ったりと、思い思いに楽しむことができました。

旅館に到着後は早速温泉に入り、大浴場や露天風呂で旅の疲れをとりました。宴会場での夕食ではお刺身・天ぷら・すき焼きなど、豪華な料理をいただきました。ここでは好きなお酒を飲む方もおられます。お腹がいっぱいになった後は、カラオケ大会に突入。一人で気持ち良く歌う人、みんなで一緒に歌う人、歌わずに聴き入る人など、ここでも楽しみ方はそれぞれでした。



2日目は、琵琶湖博物館と京都市動物園に行きました。どちらも触れあいコーナーがあり、魚やザリガニ、羊やウサギなどを触ったりして、普段できない体験をすることができました。帰りのバスの中では、疲れて寝ている方もいましたが、充実した旅行でした。楽しい行事を終えて満足そうな利用者さんを見ていると、来年の旅行はどこに行こうかな、と早くも気になってしまいます。(松村)

初めての秋祭り

かしま障害者センター

10月7日(金)「秋祭り」を行いました。毎年恒例だった「夕涼み会」を、昨年は秋祭りとして初めて行いました。前日まで降水確率70%で不安に押し潰されそうでしたが、当日は雲一つない快晴となりました。

プログラムでは、まず東淀工業高校の軽音楽部の学生さんによる演奏がありました。皆さんが知っている曲ばかりで、大変盛り上がり一緒に歌って楽しむことができました。

次に職員による「笑いヨガ」がありました。始めは馴染みがないためか舞台に関心を示さない方が多かったのですが、手拍子をしたり声を出したりするにつれ、次第に舞台の周りに沢山の方が集まり、周囲の顔色を気にせず大声で笑っていました。普段ではなかなか味わえない体験ができたと思います。

社会福祉法人 川島友愛会



抽選会では淀川区のマスコットキャラクター「夢ちゃん」がかけつけ、景品を手渡してくれました。やはり夢ちゃん人気はすごく、喜んでいる方が多かったです。フィナーレでは「ワイズダンスフィットネス」の石川良美さんによる「ダンス」があり、皆さんが楽しく踊るように見本になって会場を盛り上げてくれました。

終盤には、地面が揺れてるのではないかと思う位全員が一体となって踊っていました。出店も充実しており7種類の食べ物でお腹がいっぱいになりました。ゲームコーナーでは実習にきた学生さんたちがボランティアで参加し、射的やスーパーボールすくい、ストラックアウト等を盛り上げてくれました。

秋祭りでは近隣の住民や高校生との交流を持つことができたりと、かしま障害者センターのことが知ってもらえるいい機会になったと思います。これからも、さまざまなイベントや活動を通じて地域との輪を広げていければと思います。(土屋)



かしま障害者センター

新しい事務所と更衣室が完成

ピープルファースト全国大会に参加

地域生活支援部

毎年この時期にお伝えする恒例の行事となっているピープルファースト全国大会ですが、今回は横浜市に行ってきました。さすがは横浜、豪華な建物やお洒落な人たち、近くには海軍基地もあり多くの外国の方たちの姿もありました。

ある障害者施設での痛ましい事件があったことで、大会参加者の中には緊張を含んだ面持ちで話を聴いている人もおられ、さまざまな思いを肌で感じる機会となりました。

全国大会の楽しみでもある交流会にも参加し、盛大な歓迎イベントで楽しい時間も過ごしてきました。参加者からは人が多すぎてピュッフェの食事がすぐになくなってしまったのが残念とのことでした。(蓬田)



ル・プラス

ル・プラスでは、現在34名の利用者と18名の支援スタッフが日々業務に取り組んでいます。

人員と作業の規模が徐々に大きくなり、手狭な事務所で仕事をしていましたが、昨年9月にかねてより調整中だった新しい事務所と更衣室が完成しました。以前は長机2台を並べると身動きが取れなくなるほどの事務スペースでしたが、今回は事務デスク5台と10名以上で利用できる打合せスペースもできました。

たくさんの方に気軽に訪問していただける場所として、整理整頓を心掛け、大事に使っていきたいと思います。

(市村)

OB会で日帰り旅行

Link

Linkでは、就職した利用者OBの皆さんを対象に『OB会』を結成しており、現在100名の利用者OBで構成されています。このOB会では、働く仲間同士で集まり、日常の仕事の話をし、余暇を充実させることで働き続けられるようサポートすることを目的としています。

そんなOB会の一大イベントが年に一度の日帰り旅行です。今年は和歌山にあるマリーナシティへ行っていきました！観光バスの中では、自分の仕事内容や趣味なども発表し合い、盛り上がっていました。

マリーナシティではテラスで海を眺めながらBBQ。皆さん、楽しそうに過ごしておられ、リフレッシュできたと話していました。

最後は忘れず、職場へのお土産を選んでOBの皆さん。よし、また明日からも頑張るぞ！と声を掛けあう皆さんをこれからも応援しています。

(柳瀬)



フリーマーケットを出店しました

“COCOLO” 相談支援センター

10月16日(日)
毎年恒例の『よどがわ河川敷フェスティバル』に参加し、今回もフリーマーケットを出店しました。



一昨年は雨天のため出店を見送りましたが、今回は暑いぐらいの見事な晴天となり、参加者全員汗を流しながら販売と接客に大わらわの一日になりました。毎年お客さんの層が異なる中、今回は子どもさんを中心に家族連れの方が多く来られ、「おもちゃを用意しておけばよかったなあ」と反省する場面もありました。

また、順番に休憩を取りながら他のブースを見て回ったり、屋台で食事を摂ったり、楽しく過ごすことができました。

今後も地域の大きなイベントへの参加を通じて、地域の方々との交流を図っていきたくと考えています。
(萩原)

一泊旅行に行ってきました!!

むつみ

就労継続B型は9月2日～3日で鳥取に行ってきました。

1日目は鳥取砂丘に行きました。砂丘ではラクダに乗れるコーナーがあり、初めてのラクダに皆興奮気味でした。ラクダに乗ったり、ラクダと一緒に写真を撮ったりと楽しみました。

夕食の時には恒例のカラオケです。利用者みなさんは本当に歌が好きで、踊りながら歌を歌ったり、途中でセリフをはさんだりしながら歌っていました。

2日目は燕趙園(えんちょうえん)という中国庭園に行きました。中国雑技団ショーを見たり、チャイナ服をレンタルした記念撮影をしたりと、中国の雰囲気を楽しんでいました。



一方、生活介護は9月8日～9日で伊勢・志摩方面に行きました。鳥羽湾めぐりができる遊覧船に乗り、展望スペースに行ったり、船内のテーブル席から外を見たりして楽しみました。船の最後尾にはカモメや鳶が餌をもらいにきたりもしていました。鳶は大きくてちょっと怖かったです。

旅館では、お風呂にゆっくり浸かったり、おいしい物を食べたりとのんびりと過ごしました。夕食の時はここでもカラオケです。最後にはスタッフも利用者も全員で踊っていました。

2日目は二見シーパラダイスに行きました。アザラシやアシカと触れ合えるコーナーがあり、恐る恐る体をなでたり、豪快に触ったりとみなさん楽しそうでした。中でも、セイウチのショーはすごい迫力でした。どちらの旅行でも最後はお土産を買って、みなさん笑顔で帰宅しました。(谷口)



入居者 コメント

リュミエール加島

介護付有料老人ホーム



介護付有料老人ホームリュミエール加島は、まもなくオープンして5年を迎えます。

入所者の渡邊ミネコ様に、入所生活への想いを寄稿していただきました。

こちらに入居させていただいて三年半が過ぎました。その中で人生最大の試練も経験しました。それでも、こちらにいるスタッフの皆様の優しさと子どもたちのおかげで、どうやら心穏やかな毎日を送ることができております。

五階の廊下から見える淀川の花火、新幹線ドクターイエローに癒され、ボランティアの方々の催し物、季節それぞれの行事食、催し物、日々の体操等、楽しく参加しております。

先日、うめきたガーデンに行ってきました。久しぶりに沢山のお花に出会えてとても楽しく、以前毎年のように行っていた大分県の「久住花公園」を思い出しました。思い出を話す相手がいらないのは寂しいですが、私の部屋には山口県から一緒に来た、お喋りできない元気なインコの「ピーちゃん」がいてくれて賑やかです。

これからもぼつぼつと好きなことをしながら自由であたたかな皆様の支えを受けながら、元気で暮らしたいです。



キルトでカバンや帽子を作るのが趣味



25周年記念

DVD完成!!

加島友愛会の設立二十五周年を記念したDVDが完成し、年末の理事会で試写会がおこなわれました。

約三十分で、法人の歴史、各施設の様子、各施設にまとめられています。

今後、関係者に配布していく予定です。



求人案内

加島友愛会の施設で働きませんか？

介護職員（高齢部門）・生活支援員（障害部門）を募集中



顧客満足度だけでなく従業員満足度も追求しています

求人内容等はホームページをご覧ください